

多文化共生フォーラムとよなか2017

大規模災害時における外国人支援

～今後のめざすべき方向とは

豊中市は地域防災計画の中で、大規模災害が発生した際は災害情報について「国際交流団体や外国人等の支援団体に情報を提供することにより、日本語を解さない外国人に確実に情報が伝達されるように配慮する」と定めています。そこで、豊中市と公益財団法人とよなか国際交流協会は、災害時における外国人市民等の支援を円滑に行うことをねらいとする「豊中市災害時多言語支援センター設置に関する協定」を2月28日に締結します。

しかし、実際に大規模災害が起こった場合、市と国際交流協会だけでなく、市民、市民団体、関係機関などが、日頃の備えも含めた連携体制を作らないことには十分に外国人支援はできません。

そこで、昨年起こった熊本地震での支援の取組みも参考としながら、今後のあるべき方向や支援体制の在り方について考え、行動していくきっかけとして本フォーラムを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

とき 2017年 **3**月 **11**日(土) **13:30**～**16:00**

ところ **とよなか国際交流センター CCスペース**

(豊中市玉井町1-1-1-601 エトレ豊中6階 ※阪急豊中駅直結)

プログラム

第1部 講演「東日本大震災の経験から」講師:佐々木アメリアさん(フィリピン出身、南三陸町在住)

第2部 報告&パネルディスカッション

・阪神・淡路大震災時の取組について:国際交流の会とよなか 葛西美紗さん

・とよなか国際交流協会による熊本の視察報告

・パネルディスカッション「豊中市における外国人支援のあり方を考える」

パネラー:佐々木アメリアさん/大阪大学未来共生イノベーター・プログラム特任教授 塚本俊也さん

大阪府国際交流財団(OFIX) 吉川友香さん(多文化共生マネージャーかつ熊本地震の際に現地活動)

第3部 外国人への多言語での情報提供に関する協定締結式

(大阪大学大学院国際公共政策研究科/とよなか国際交流協会)

定員 50人(要申込)

主催 豊中市、(公財)とよなか国際交流協会

大阪大学大学院国際公共政策研究科、(公財)大阪府国際交流財団(OFIX)

後援 (社福)豊中市社会福祉協議会、(特活)国際交流の会とよなか(TIFA)

大阪大学未来共生イノベーター・プログラム(RESPLECT)

問合せ・申込先 とよなか国際交流協会

TEL 06-6843-4343 E-mail atoms@azaq.jp (水曜休館)

